

大阪府立芥川高等学校 令和6年度第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立芥川高等学校
(准)校長名	富山 一紀

開催日時	令和6年6月21日(金)
開催場所	府立芥川高等学校 校長室
出席者(委員)	清水会長、芝野委員、濱崎委員、伊藤委員 (吉田委員、平井委員は欠席)
出席者(学校)	校長 富山、教頭 出口、事務長 川谷、首席 渡邊、首席 前田、進路指導主事 片山、書記 梅本、中尾
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価、2024年度授業アンケート(1学期実施分)、2023年度入試結果、3年4月進路希望調査結果、2024年度進路指導計画
備考	

議題等(次第順)

- 会長及び会長代行の選出について
- 4月からの学校の様子について
- 令和6年度学校経営計画にもとづく本校の取り組みについて
- 生徒による授業アンケートについて
- 進路指導部より(2023年度入試結果、43期3年4月進路希望調査結果、2024年度進路指導計画)
- 保護者からの意見書について
- 教科書選定について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 会長及び会長代行について
 - ・清水委員を会長に、吉田委員を会長代行に選出することが承認された。
- 4月からの学校の様子について
 - ・全クラスでクラス開きを実施したことで新学期がスムーズに始められ、人間関係の醸成が図られていることについて評価できるとい意見があった。また、1年生の部活動加入率が非常に高い点について、全国的にも珍しいとの意見があった。
- 令和6年度学校経営計画にもとづく本校の取り組みについて
 - ・中期目標が毎年改善されており評価できるとの意見があった。
 - ・2. 中期的目標「1. (1)ア」において、「確かな学力を身につけ」という文言を追加した旨を報告した。
 - ・3. 本年度の取り組み内容及び自己評価「3. (1)イ」において、英語検定等の資格取得者数が減少傾向にある理由について質問があった。検定受験者が年々減少傾向にあり、サポート体制を強化している旨を報告した。委員からは、全国的に見ても英語に対して苦手意識を持つ生徒が増えていることを教示していただいた。
 - ・3. 本年度の取り組み内容及び自己評価「4. (2)」において「学校部活動方針(休養日等)の遵守及び全校一斉退庁日の遵守を推進し、時間外勤務の圧縮を図る」「教職員一人当たりの月間平均超過勤務時間を令和5年度より8%削減」という文言を追加した旨を報告した。
- 生徒による授業アンケートについて
 - ・1学期期末に実施計画のため、次回以降に結果報告予定。
- 進路指導部より(2023年度入試結果、43期3年4月進路希望調査結果、2024年度進路指導計画)
 - ・総合型選抜の合格率が上がっており、年内入試も増加傾向にある。また、久しぶりの国公立大学合格者があったことについて報告した。
 - ・希望進路の実現には、いかに目標を早く決めて対策できるかが重要であるとの助言があった。
 - ・進路希望調査の結果については、リハビリや看護の希望者が増加傾向にあると報告した。
 - ・進路指導計画については、看護体験や文理選択ガイダンスなどを実施するなど、生徒一人一人に合ったきめ細かい指導を計画していると報告した。
 - ・社会福祉をめざす人が全体的に減っており、現場は非常に困っている。現場は大学や専門学校だけでなく、高校にもアプローチをかけているほど。保育や社会福祉へ進む道も積極的に勧めてほしい、という意見があった。
 - ・3年生の中でも明確な目標を持っている生徒と、ふわっとしている生徒がいるという意見があった。
- 保護者からの意見書について
 - ・提出なし。
- 教科書選定について
 - ・次回の協議会で報告予定。

次回の会議日程

日時	令和6年11月中旬～下旬
会場	府立芥川高等学校 1階 校長室